

南初富連合自治会の生い立ち

1. 古いことなので昔の資料は残っていないが、聞く処によると昭和20年代に出来たもので、当時の世帯数は民家が少なく数百戸しかなかったとのこと。
1. その時のエリアは、南初富全域・東初富1～2丁目と3丁目の大半・丸山1～2丁目と3丁目の一部・富岡・右京塚の全域・中央1～2丁目・初富地区の半数であったと聞き及んでいる。
1. その後、富岡の全域と右京塚・中央2丁目の一部を分割し、現在に至っており、今の世帯数は約4700戸に増加している。なお、現在の会長は17代目である。
1. 昭和60年まで、鎌ヶ谷市では区長制度を採用していたが、その後自治会制度に改め、鎌ヶ谷市自治会連合協議会が結成され、連合自治会制度が敷かれた。
1. 平成3年、鎌ヶ谷市の声がかりと、鎌ヶ谷市社会福祉協議会の後援で、地区社協制度が県下のトップをきって創立され、鎌ヶ谷市東第一区連合自治会・東武鎌ヶ谷自治会・及び南初富自治会の三自治会が協力して、中央東地区社会福祉協議会を設立した。
1. 同年、鎌ヶ谷市からの呼びかけで、鎌ヶ谷市自治会連合協議会で「地区ふれあい員」制度を新設、約500名の方々が選出され、自治会連合協議会会長が委嘱した。当自治会でも約80名の皆様が就任した。
1. 更に同年、地区社協の要請で当自治会が主体となって、福祉援護グループ「南初富あゆみ会」「南初富東あゆみ会」を設立した。
1. 平成9年、それまで当自治会では、支部制度を敷いていたが、支部を自治会に名称変更し、同年を以て本部も南初富自治会から南初富連合自治会と変更した。

(笹川種夫 記)